

二〇二四(令和六)年度 社会福祉法人 南風会 事業報告

事業報告概況

一. 感染症の状況と対応

新型コロナウイルス感染症については、補助金・検査報告制度の終了(令和六年三月)により、検査体制は縮小されましたが、感染者は散発的に発生し続け、各拠点とも対応を継続しています。特に青梅・新宿拠点では複数回にわたりクラスターが発生しました。

* 青梅拠点*

・青梅学園では一〇月・一二月にコロナ、インフルエンザ、腸炎による集団感染。特に一二月〜翌年三月にかけて感染が連続。

・短期入所利用者、職員の感染報告あり。適切な隔離・保健所への届出を実施。

・入所中の利用者一名急逝。追悼行事を実施。

* 新宿拠点*

・九月および翌年三月に二階フロアを中心としたクラスター。最大一五名(利用者・職員)の感染。

・コロナ対応後は通常支援体制へ速やかに移行。

感染症対応では、計画行事の一部中止があったものの、基本的に支援・外出計画は概ね実施できました。

二. 事業全体の推移

全体として事業は安定的に推移しました。報酬改定による加算等の変更に対応し、請求事務を慎重に進めています。各施設では保護者会や利用者の外出・旅行・地域行事参加も通常開催へ戻り、利用者の笑顔が多く見られるようになりました。

三. プロジェクトの進行状況

① 職員採用プロジェクト

* マイナビを活用した採用活動と面接を通年で実施。

* 新卒採用に加え、次年度に向けた採用活動も並行して展開。

* 今後の採用の次善策としてインドネシアからの職員採用計画を実施、次年度 当初に採用予定

② 職員育成プロジェクト

* 福祉活動*

・無料コンサルタント導入による活動の推進。

・前年度QCグループが都大会および全国大会に出場。

・シャロームみなみ風が全国大会で「優良賞」を受賞。

* 研修制度構築*

・アドバンス職員・チーフリーダー向け研修を準備・実施。

・人事考課制度と連動した育成が進展。

③ 周年行事プロジェクト

* シャロームみなみ風 〇〇周年*

・六月一日『アミーゴフェスティバル』、八月十日『利用者・家族・職員二〇〇名 での食事会』無事終了。

* 南風会 創立〇〇周年*

・一〇月二六日に記念式典開催、十一月一六日には記念講演会(山下英夫氏(前理事))を実施。
・記念誌には利用者作品を多数掲載。

IV. 人事関連・育成

* 人事考課*

・令和五年度後期・通年考課およびフィードバック面談を実施。

・令和六年度前期の常勤、非常勤職員に対しても順次実施。

・シャロームみなみ風で年間三回の人事審査委員会を開催。綱川社労士の指導を含め、考課を実施する。

* 人材育成*

・人事考課に基づく面談と研修を通じた育成体制が軌道に乗っている。

・令和六年度入職者の中で2名個人の事由により退職となる。その他は、順調に業務になれて戦力となる。

V. その他のトピックス

* ケアホーム*

・寮長が東京都の「強度行動障害中核人材」として選出。支援現場

場で実践が活かされている。

・ケアホーム南風イースト開設(男子寮)とともに、旧ケアホーム南風を女子棟とし、重度者への同姓介護を適切に推進。

* 事故・トラブル対応*

・九月十二日、かすみの里で送迎車が街路樹に衝突。大破したが大きなけがはなし。運転手の健康管理体制を再確認。

VI. 経営推進会議の実施

法人全体の状況、人事、各種プロジェクトの進捗確認のため、以下の通り経営推進会議を定期開催。

VII. まとめ

令和六年度は、感染症への対応を継続しながらも、法人創立六〇周年・シャロームみなみふう施設開設一〇周年という節目の年を各種行事・記念誌などを通じて着実に形にすることができました。報酬改定や人事制度の運用も丁寧に対応し、利用者支援の質・職員育成ともに前進した一年でした。

今後、感染症対策と支援体制の強化を両立させつつ、地域福祉の中核として役割を果たしてまいります。

以上事業の概況報告とさせて頂く。

